

主題：信徒

メッセージ 23

彼らの現在——神によって召された

聖書：ローマ 8:28-30. II テモテ 1:9-10. I ペテロ 5:10. II ペテロ 1:3

- I. 神の完全な救いには三つの段階があります。すなわち、初期の段階、前進した段階、完成する段階です。初期の段階（再生）の第一の面は、神の召しです——ローマ 8:30。
- II. 信徒は神ご自身によって召されています。神の召しは神に始まり、神によって開始されます——使徒 2:39. ローマ 9:11. ガラテヤ 5:8. I テサロニケ 5:24：
- A. 神がわたしたちを召したのは、彼があらかじめ定めることによってです——エペソ 1:4-5. I ペテロ 1:1-2：
1. 神は彼の主権ある案配の下で、来て彼の選びの民を召し、彼らを彼の当初の意図に連れ戻します——啓 4:11. エペソ 1:4-5, 11。
 2. 神は彼のあらかじめ定めることによってわたしたちを召したので、わたしたちは彼の召しを逃れることはできません。神はあらかじめ定めたすべての者を召します——ローマ 8:30。
- B. 神がわたしたちを召したのは、彼の目的によつてです—— 28 節. II テモテ 1:9：
1. 神の目的とは、彼のみこころにしたがったご計画であり、わたしたちをキリストの中に置いて彼と一にし、彼の命と地位にあずからせ、わたしたちが彼の証しとなることです——エペソ 1:5, 9, 11. 3:11。
 2. 神がわたしたちをあらかじめ定めたのは、御子のかたちに同形化されて、彼が多くくの兄弟たちの間で長子となるためです。この目的は、わたしたちが団体の方法で神を表現することです——ローマ 8:28-30。
- C. 神がわたしたちを召したのは、彼の恵みによります。それはキリスト・イエスの中で、永遠の時の前にわたしたちに与えられ、わたしたちの救い主キリスト・イエスの出現を通して、明らかにされています—— II テモテ 1:9-10。
- D. 神がわたしたちを召したのは、ご自身の栄光と美徳によります—— II ペテロ 1:3：
1. 神の召しの目的は、神の栄光、すなわち神の表現、光輝の中で表現された神です——啓 21:10-11。
 2. 美徳は神の目標に到達するための命の精力と力です—— I ペテロ 2:9。
- E. 神がわたしたちを召したのは、キリストの中で、また遣わされた者によって宣べ伝えられた福音を通してです—— 5:10. II テサロニケ 2:14：
1. キリストは、信徒たちが神に召される要素また領域です。
 2. 福音の宣べ伝えは、神の天的で永遠の召しの発声です——ローマ 8:30. 10:14-15。
- III. 神の召しの目的を見ることは、決定的に重要です—— 8:28：
- A. 神は何を行なうにも、明確な目標をもって行ないます。これは特に神の召しにおいて真実です——啓 4:11. II テモテ 1:9-10。
- B. 神がわたしたちを召したのは、わたしたちを暗やみから驚くべき光の中へもたらすためです。暗やみは死におけるサタン表現と領域であり、光は命における神の表現と領域です—— I ペテロ 2:9。
- C. 神がわたしたちを召したのは、わたしたちをすべての世俗的な事柄から分離し、彼の目的のためにご自身へと聖別するためです——ヘブル 3:1：
1. 神の聖なる召し、高い天的な召しにおいて、信徒は神に分離され、こうして聖徒

- となっています—— I コリント 1:2。
2. 聖徒は聖別する神の召しを通して生み出されます。神は彼らをこの世からご自身へと召しています。ですから、神の召しは分離と聖別です——ローマ 1:7. ヘブル 3:1. 13:12-13。
 3. 聖なる、高い、天的な召しは、神聖な望みを伴う召し、すなわち神の召しの望みです——エペソ 1:18. 4:4. コロサイ 1:27。
- D. 神はわたしたちの主イエス・キリストの交わり、あずかること、享受へと召しました—— I コリント 1:9 :
1. キリストご自身が、実は神がわたしたちをその中に召した交わりです。イエス・キリストの交わりの中へと召されるとは、彼の中へと召されることです。
 2. この交わりは、わたしたちと三一の神との一だけでなく、すべての信徒の一も含みます——ヨハネ 17:21-23。
 3. わたしたちが神の御子の交わりへと召されたという事実は、わたしたちとキリストが一となったことを意味します。それはまた、わたしたちがキリストであるすべてを享受し、彼がわたしたちと、わたしたちが何であるかを享受することを意味します。
- E. 神はわたしたちをキリストの苦難へと召しました。神の召しは、キリストの享受とキリストの苦難を含みます—— I ペテロ 2:20-21。
- F. 神はキリストの平安のために、彼の一つからだへわたしたちを召しました——コロサイ 3:15 :
1. キリストの平安は新しい人の中の平安の一です——エペソ 2:15。
 2. キリストご自身が平安であり、わたしたちの内側で裁定の働きを行なって、わたしたちを神に対して、また彼の一つからだのために互いに、平安を保ちます。
- G. 神はわたしたちを召して、主イエス・キリストの栄光を得させます—— II テサロニケ 2:14 :
1. 主の栄光とは、彼が神の御子として、御父の命と性質を所有して彼を表現することです。わたしたちが主の栄光を得るとは、神の御子と同じ地位にいて御父を表現することです——ヨハネ 17:22。
 2. 神はわたしたちをこの栄光の獲得、すなわち、神聖な方を表現する神聖な命と神聖な性質の栄光へと召しました。
- H. 神はわたしたちを彼の永遠の栄光へ、あらゆる恵みの神の表現のために召しました—— I ペテロ 5:10 :
1. わたしたちの神はあらゆる恵みの神であり、わたしたちを永遠の栄光、すなわち空間においても時間においても無限である栄光へ召しました。
 2. 墮落した罪人が神の永遠の栄光へ、彼の永遠の表現へもたらされ得るとは、大いなる奇跡です。わたしたちが神の栄光へ召されたのは、あらゆる恵みの神を表現するためです。
- I. 神はわたしたちを彼の王国と栄光の中へと召しました—— I テサロニケ 2:12 :
1. クリスマン生活には目標があり、この目標は神の王国です。王国は、わたしたちのクリスマンの歩みの唯一の目標です——マタイ 6:33。
 2. 神の王国は神の栄光と関係があります。わたしたちは神の王国の中に入るとき、神の栄光、すなわち神の召しの目標に入ります—— 13 節後半。